

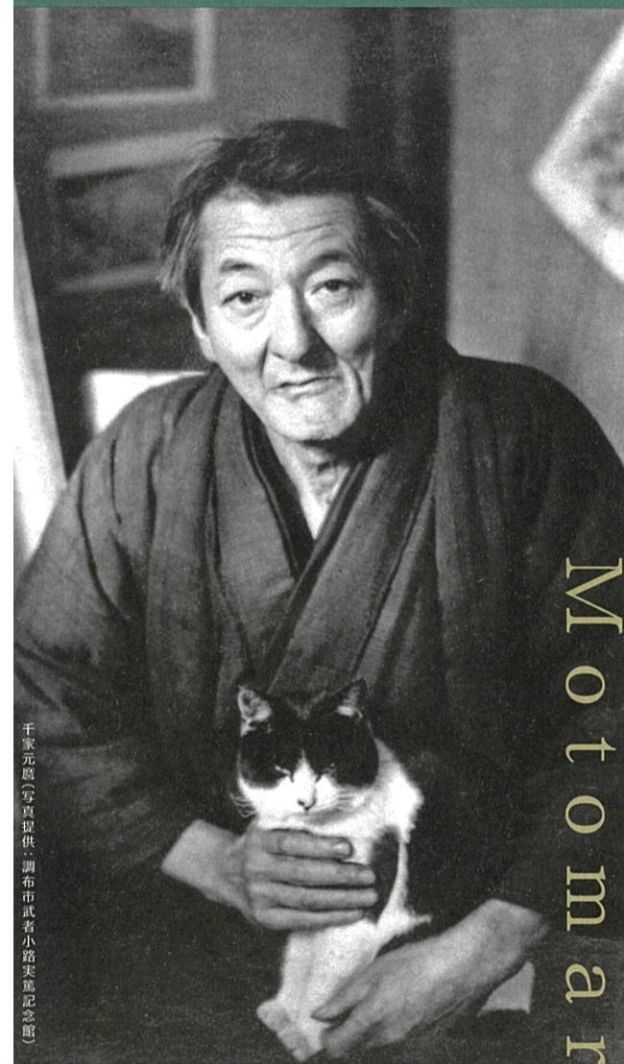
収蔵品展

実篤と元麿

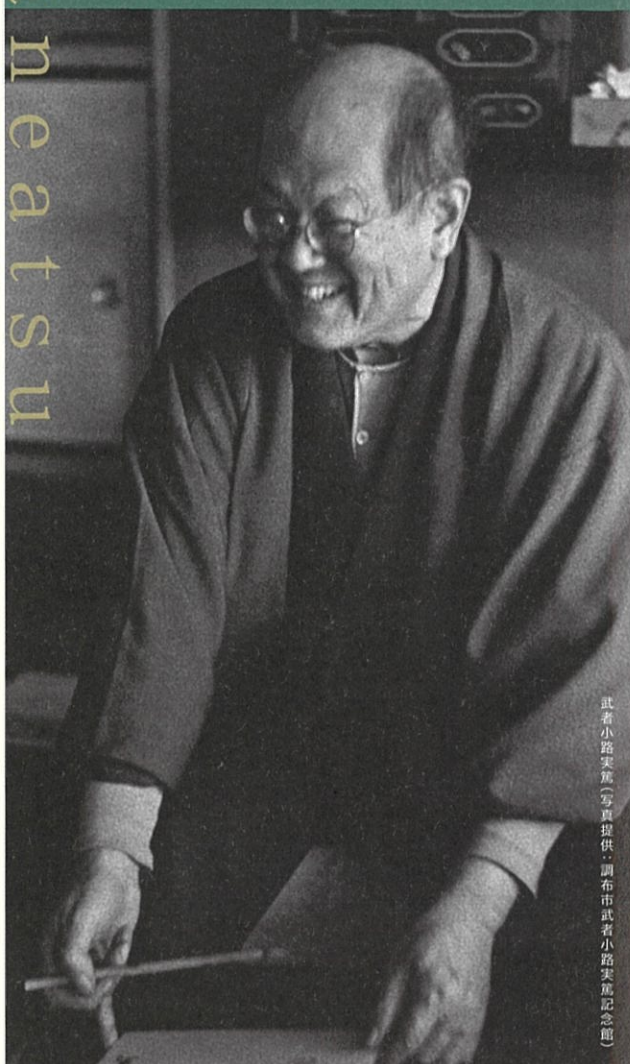
二人の
作品から

Saneatsu

Motomaro



千家元麿（写真提供・調布市武者小路実篤記念館）



武者小路実篤（写真提供・調布市武者小路実篤記念館）

本年100周年を迎える「新しき村」に関わりの深い武者小路実篤と、実篤と深交があり飯能市にも居住した白樺派の詩人・千家元麿の作品を展示します。

2018 4.28 [土] → 6.10 [日]

休館日：月曜日（ただし4/30は開館）、5/1 [火]・5/22 [火]

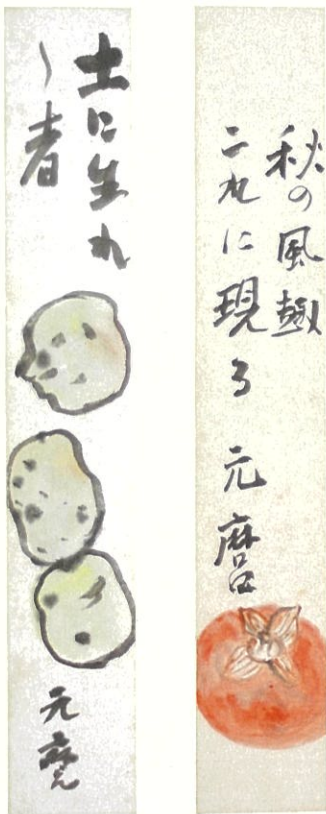
観覧時間：10時～17時30分（観覧受付は17時まで）

観覧料：一般210円 学生100円（中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介助の方1名は無料）

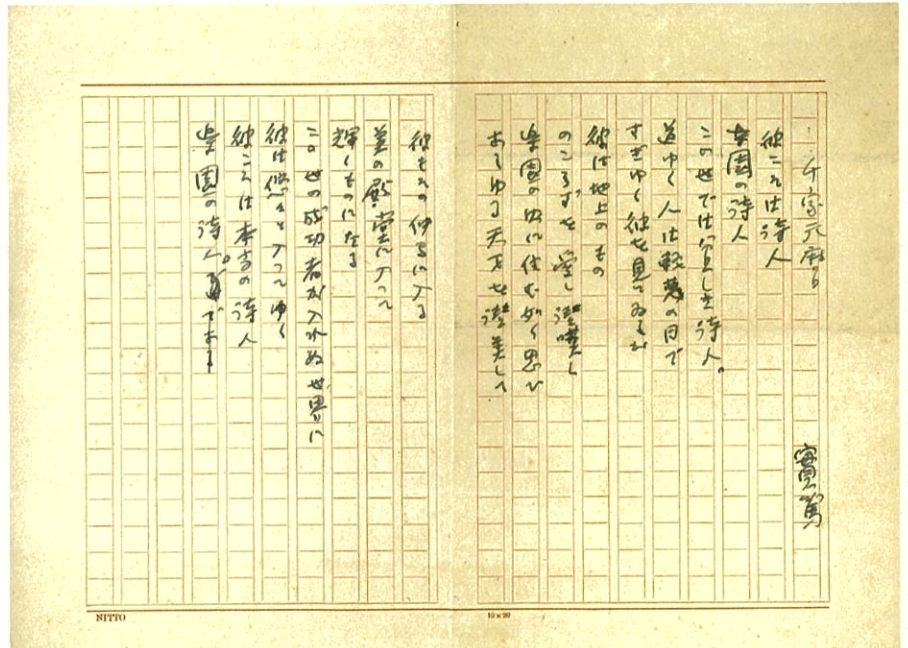
さいたま文学館



武者小路実篤の作品(左右ともに画賛幅)



千家元麿の作品(左右ともに短冊)



武者小路実篤の自筆詩稿「千家元麿」

武者小路実篤が千家元麿の死を悼んで作った詩。雑誌『心』1巻2号(昭和23年8月号)掲載の実篤の追悼文「楽園詩人」の末尾に、この詩が付されている。

さいたま文学館では、平成9年の開館以来、埼玉ゆかりの文学者を中心とした文学資料の収集に努めており、その数は現在約16万点に達しています。こうした資料収集の成果を多くの皆様にご存知いただくことを目的に、当館では収蔵品展を開催してきました。

本年は、武者小路実篤らによって大正7(1918)年に「新しき村」が誕生してから100周年という記念の年に当たります。そこで、今回の収蔵品展では、「新しき村」の創設に深くかかわった武者小路実篤と、実篤と深交があり飯能市にも居住した白樺派の詩人・千家元麿の作品を、さいたま文学館の豊富な収蔵資料の中から選りすぐって紹介します。

当館職員による展示解説
ギャラリートーク
 (申込不要・要観覧料)

4月28日[土]
 5月19日[土]
 各13:30~14:00

参加ご希望のかたは、時間になりましたら企画展示室にお集まりください。



JR高崎線
 桶川駅西口から
 徒歩約5分

